

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

346

結核医療扶助事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	4	保健医療対策の推進
取組方針	3	結核予防とまん延防止対策の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・ 予算区分	会計	一般会計	
	款	衛生費	
	項	保健衛生費	
	目	結核予防費	
	大事業	結核予防事業	
中事業	結核医療扶助事業		

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市地域保健医療計画		
事業年度	無し ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	保健対策課	上中 英人	488-5104
事業実施の根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する	関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	結核患者が公費の負担を受け、適切な医療を受けることができる状態にする。		結核患者の治療に要する医療費を負担。健康保険を優先し、残りを公費と自己負担で支払う。 ・37条(入院)：医療費全額を健康保険と公費で負担。自己負担額は市町村民税の所得割額が564,000円を超える者は2万円。 ・37条の2(通院)：対象となる医療費の95%を健康保険と公費で負担。自己負担額は医療費の5%			
事業内容	/	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
		結核患者が医療機関で受けた結核にかかる医療費の公費負担分について、審査及び支払事務を国保連合会等へ委託し医療費と手数料を支払う。	結核患者が医療機関で受けた結核にかかる医療費の公費負担分について、審査及び支払事務を国保連合会等へ委託し医療費と手数料を支払う。	結核患者が医療機関で受けた結核にかかる医療費の公費負担分について、審査及び支払事務を国保連合会等へ委託し医療費と手数料を支払う。	結核患者が医療機関で受けた結核にかかる医療費の公費負担分について、審査及び支払事務を国保連合会等へ委託し医療費と手数料を支払う。	結核患者が医療機関で受けた結核にかかる医療費の公費負担分について、審査及び支払事務を国保連合会等へ委託し医療費と手数料を支払う。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	12,435	24,518	15,733	10,257	15,718	18,501	15,707	0	15,707	0
伸び率(%)	△49.2%	173.3%	26.5%	△58.2%	△0.1%	80.4%	△0.1%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	2,158	2,158	2,739	1,772	3,504	4,539	3,345	0	3,345
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,158	2,158	2,739	1,772	3,504	4,539	3,345	0	3,345
国庫支出金	8,887	12,979	11,426	9,467	11,425	10,296	11,425	0	11,425	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	2,691	0	23	0	0	0	0
一般財源(税等)	3,548	11,539	4,307	△1,901	4,293	8,182	4,282	0	4,282	0
所要人数(人)	正規職員	0.27	0.27	0.34	0.22	0.44	0.57	0.42	0.00	0.42
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	医療扶助費 15,577千円、医療費給付事務委託料 73千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
37条の2申請件数		件	目標値					
			実績値	102	112	92		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
37条申請件数		件	目標値					
			実績値	73	64	67		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
治療成功率		%	目標値	80	80	80	80	
			実績値	80.8	74.4	70.8		
			達成度(%)	101.0%	93.0%	88.5%	%	%
			目標値					
成果指標			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	感染症診査協議会において、入院期間や費用負担等に関し必要な事項を審議するとともに、医療機関や支払い代行機関等関係機関と連携し、適正な医療、公費負担となるように実施しており、現状のまま維持継続する。
見直し・改善内容	感染症診査協議会において適正医療の徹底に努める。 確実な治療のために服薬支援を強化し、治療成功率の向上を図る。